

2017

2/1

February
No.272

市報 やまぐち

平成 27 年度決算報告 ②
ごみ処理の現状 ⑥
輝く人「久保裕也」 ⑩

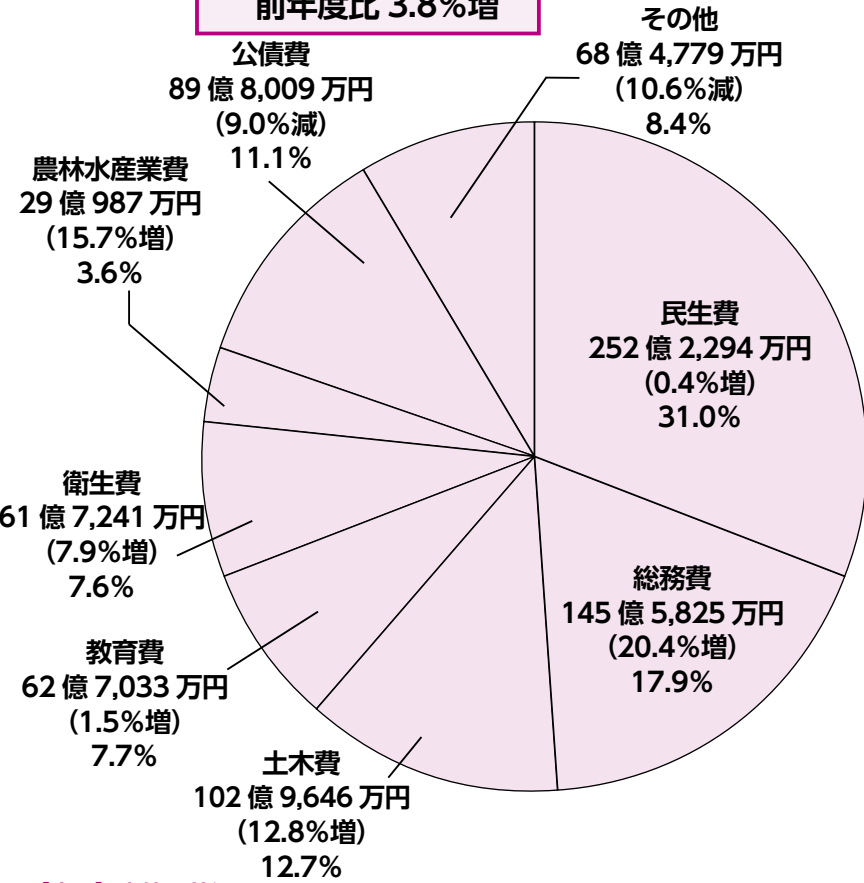


市民 1 人当りに使われるお金は
42 万 443 円

【内訳】

- 民生費** 児童、高齢者、社会全体の福祉のために 13 万 508 円
- 総務費** 市の運営や地域の振興のために 7 万 5,327 円
- 土木費** 道路や公園の整備などのために 5 万 3,275 円
- 教育費** 学校、社会教育のために 3 万 2,444 円
- 衛生費** 生活環境の充実のために 3 万 1,937 円
- 農林水産業費** 農林水産業の振興のために 1 万 5,056 円
- 公債費** 市債の償還のために 4 万 6,464 円
- その他** (議会費、災害復旧費、労働費など) 3 万 5,432 円

一般会計歳出総額
812 億 5,814 万円
前年度比 3.8% 増

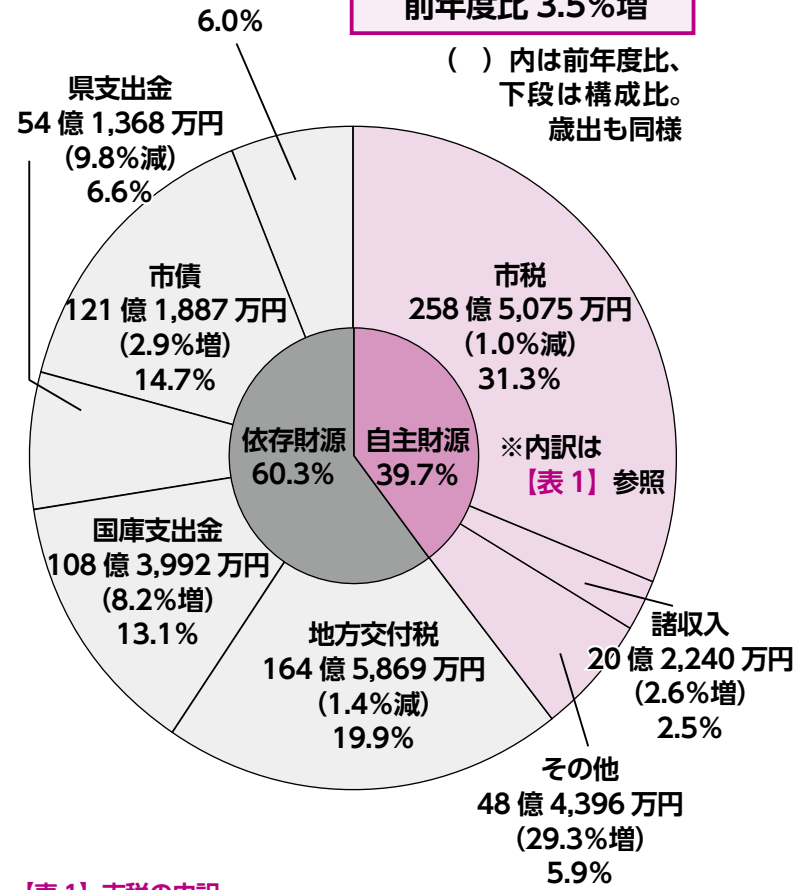


【表 2】市債の状況

区分	平成 27 年度末 現在高	市民 1 人当たり 現在高
一般会計	998 億 3,353 万円	51 万 6,555 円
特別会計	47 億 6,004 万円	2 万 4,629 円
合計	1,045 億 9,357 万円	54 万 1,184 円
年度末現在高 に対する利息	70 億 2,023 万円	3 万 6,324 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

一般会計歳入総額
825 億 234 万円
前年度比 3.5% 増



【表 1】市税の内訳

税目	平成 27 年度 決算額	市民 1 人当たり 金額	構成比 (%)	前年度比 (%)
個人市民税	96 億 6,093 万円	4 万 9,987 円	37.4	1.6
法人市民税	24 億 9,904 万円	1 万 2,930 円	9.7	△12.1
固定資産税	104 億 5,671 万円	5 万 4,105 円	40.4	△0.7
軽自動車税	4 億 4,597 万円	2,308 円	1.7	3.2
たばこ税	12 億 6,664 万円	6,554 円	4.9	△0.6
鉱産税	0 万円	0 円	0.0	△100.0
入湯税	8,469 万円	438 円	0.3	9.0
都市計画税	14 億 3,677 万円	7,434 円	5.6	△1.9
合計	258 億 5,075 万円	13 万 3,756 円	100.0	△1.0

市民 1 人当りに換算すると
42 万 6,881 円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

16 万 9,284 円

市税 13 万 3,756 円

諸収入
預金利子や市が融資した貸付金の返済金など
1 万 464 円

その他 (分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金)
2 万 5,064 円

国や県を経由する収入 (依存財源) **25 万 7,597 円**

地方交付税
市町村間の財源の均衡を図るため、国が交付するお金
8 万 5,160 円

国庫支出金 一定の事業について、国が負担するお金
5 万 6,088 円

県支出金 一定の事業について、県が負担するお金
2 万 8,011 円

市債 市の借金
6 万 2,705 円

その他 (地方譲与税、交付金等)
2 万 5,633 円

平成 27 年度
決算報告

平成 27 年度の決算が、平成 28 年第 6 回市議会定例会で認定されました。そこで、平成 27 年度の歳入歳出の実績について、市民 1 人当りに置き換えてお知らせします。
◎ 財政課 ☎ 083・934・2750
※ 市民 1 人当たりの換算額は、平成 28 年 3 月 31 日現在の人口 19 万 3,268 人を基に算出

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源に、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

【歳入 35% 増、歳出 3.8% 増、実質黒字約 7 億 6,052 万円】

平成 27 年度の決算額は、平成 27 年度当初予算額 849 億 3 千万円に対し、歳入が 825 億 234 万円、歳入が 812 億 581 万 4 千円となり、対前年度伸び率は、歳入から歳出を差し引いた 12 億 4 千 4 百 20 円から、平成 28 年度へ繰り越した 7 億 6 千 5 百 2 万円が、実質的な黒字になりました。

歳入

【市税 2 億 7 千万円減、市債 3 億 5 千万円増】

市税は、法人市民税や固定資産税の減などにより、前年度に比べ約 2 億 7 千万円減の 258 億 5 千 7 百 5 万円になりました。

地方交付税は、旧阿東町との合併に係る合併算定替の通減が始まったことなどにより、約 2 億 3 千万円減の 164 億 5 億 8 千 6 百 9 万円に、国庫支出金は、地域住民生活等緊急支援交付金や社会資本整備総合交付金の増などにより、約 8 億 2 千万円の増となる 108 億 3 億 9 千 9 百 2 万円になりました。

歳出

【総務費 24 億 6 千万円増】

民生費は、私立保育園運営費の増などにより、前年度と比べ約 1 億 1 千万円増の 252 億 2 千 2 百 9 千 4 万円になりました。

総務費は、地域交流センター建設事業費の増などにより、前年度と比べ約 24 億 6 千万円増の 145 億 5 億 8 千 2 百 5 万円になりました。

土木費は、新山口駅ターミナルパーク整備事業費の増や中心市街地核づくり推進事業費の増などにより、前年度と比べ約 11 億 7 千万円増の 102 億 9 千 6 百 4 千 6 万円になりました。

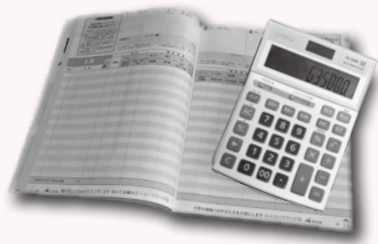
その他は、平成 25 年 7 月の豪雨災害に係る災害復旧事業費の減などにより、前年度と比べ約 8 億 1 千万円減の 68 億 4 千 7 百 9 千 万円になりました。このほか、公債費は長期債元利償還金の減により、決算額は前年度と比べ約 8 億 9 千万円減の 89 億 8 千 0 百 9 千 万円になりました。
平成 27 年度市税の決算内訳は【表 1】の通りです。
平成 27 年度末の市債 (借金) の状況は【表 2】の通りです。

市の財政ってどうなってるの？

山口市の台所事情 ～家計の 1 カ月分に例えると～

平成 27 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。
1 カ月分の金額は、27 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（）内は 27 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。本市の普通会計には、一般会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計、小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計（一部）が含まれます。



収入		支出	
給料	21 万 5,000 円 ① (市税 258 億 5,075 万円)	食費・税金・社会保険料	11 万 1,000 円 a (人件費 132 億 8,351 万円)
家賃収入	3 万 2,000 円 ② (使用料・手数料等 38 億 6,356 万円)	医療費・養育費	12 万 2,000 円 b (扶助費 146 億 7,203 万円)
パート収入	5 万 1,000 円 ③ (地方譲与税、交付金等 61 億 436 万円)	光熱水費・電話代等	8 万 2,000 円 c (物件費 98 億 6,994 万円)
親などからの協力・援助	30 万 2,000 円 ④ (地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 362 億 5,125 万円)	子どもへの仕送り	5 万 9,000 円 d (繰出金 70 億 6,448 万円)
貯金の利子	1 万 1,000 円 (財産収入 13 億 2,882 万円)	町内会費、サークルや会合の会費	6 万 1,000 円 e (補助費等 73 億 6,210 万円)
自宅増改築等のための借入れ	7 万 3,000 円 (市債(臨時財政対策債を除く) 87 億 7,730 万円)	ローンの返済	7 万 5,000 円 f (公債費 89 億 9,139 万円)
貯金の取り崩し	3,000 円 (基金繰入金 3 億 4,688 万円)	自宅・借家の増改築、家電購入等	13 万 2,000 円 (普通建設事業費、維持補修費等 158 億 9,230 万円)
		貯金	3 万 5,000 円 (積立金 41 億 3,456 万円)
収入合計 68 万 7,000 円 (合計 825 億 2,382 万円)		支出合計 67 万 7,000 円 (合計 812 億 7,030 万円)	

家計に例えると 給料などに加えて、親からの協力・援助を活用して家計を賄っています。支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 31 万 5,000 円 (a + b + c)、子どもへの仕送りが 5 万 9,000 円 (d)、町内会費やサークル等の会費が 6 万 1,000 円 (e)、ローンの返済が 7 万 5,000 円 (f) あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 51 万円になっています。一方収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 24 万 7,000 円 (① + ②) ありますが、これだけでは毎月の支出金額を賄うことができません。このため、毎月のパート収入 5 万 1,000 円 (③) や親からの協力・援助 30 万 2,000 円 (④) を活用してやりくりをしています。なお、毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。

- 今後の見通しと取り組み -
将来の財源不足に備えて行財政改革を推進
現状では、財源不足を補うような基金の取り崩しは行っていないですが、地方交付税に係る合併による国からの財政支援措置が年々減少する一方、少子高齢化の進展による、扶助費等の増加が見込まれ、今後は厳しい財政運営となる見通しとなっています。市では、このような財政状況を踏まえ、「市財政運営健全化計画」を策定し、改めて歳入・歳出の両面から行財政改革により、持続可能で自立した財政基盤の確立を目指した取り組みを進めています。

詳しくはウェブサイトに掲載しています

- ① **支えあい健やかな暮らしのできるまち**
保育園および児童クラブの新設・増設等の整備を進めました。
- ② **いきいき子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をほぐすまち**
市内の小・中学校および幼稚園の学校施設の耐震化率は 100% を達成しました。
- ③ **安心・安全な暮らしのできるまち**
総合的な浸水対策や防災情報伝達体制の充実を図りました。
- ④ **自然環境と調和した暮らしのできるまち**
山口市大浦一般廃棄物最終処分場の建設工事を進めました。
- ⑤ **機能的な都市基盤が整い、発展していくまち**
新山口駅の橋上駅舎と南北自由通路の供用を開始しました。
- ⑥ **市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち**
「プレミアム商品券」の発行などで市内経済の活性化を図りました。
- ⑦ **ともに力をあわせてつくるまち**
大蔵地域交流センターの増改築工事を実施しました。
- ⑧ **市民の信頼に応える行政のまち**
「明治維新新築の地 山口市」「湯田温泉」など、本市の都市ブランド力の向上に向け、市内外へのシティセールスに取り組みました。

【表 3】平成 27 年度特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1人当たり歳出金額
国民健康保険	238億8,030万円	13.3%	233億822万円	14.4%	12万600円
後期高齢者医療	26億3,298万円	△1.1%	26億2,051万円	△1.0%	1万3,559円
介護保険	159億7,470万円	1.6%	154億9,270万円	△0.4%	8万162円
介護サービス事業	6,192万円	△0.3%	5,306万円	△3.3%	274円
駐車場事業	5,974万円	3.9%	3,496万円	△10.0%	181円
小郡駅前第三土地区画整理事業	7億6,643万円	144.4%	7億6,643万円	144.4%	3,966円
簡易水道事業	8億1,008万円	121.7%	8億512万円	120.4%	4,166円
農業集落排水事業	5億3,853万円	6.8%	5億3,853万円	6.8%	2,786円
漁業集落排水事業	1,544万円	△4.2%	1,544万円	△4.2%	80円
地域下水道事業	533万円	14.4%	501万円	17.9%	26円
国民宿舎	4,195万円	38.9%	4,195万円	38.9%	217円
特別林野	2,613万円	43.9%	1,713万円	123.6%	89円
合 計	448億1,353万円	9.7%	436億9,906万円	9.5%	22万6,106円

特別会計は特定事業を行う場口に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。平成 27 年度特別会計の歳入歳出決算は「表 3」の通りです。

特別会計

山口市の財務諸表への取り組み状況について

従来の国や地方公共団体の会計制度は、単式簿記・現金主義といわれるもので、現金の出し入れが分かりやすい反面、これまでに形成してきた資産の状況（ストック情報）や、行政サービスを提供するために必要としたコストの状況（コスト情報）を表すことができませんでした。そこで、本市では「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の財務書類を作成し、「ストック情報」や「コスト情報」がわかるように公表しています。例えば「貸借対照表」からは、本市が整備してきた建物や公園、道路等の社会資本の状況やこれらを形成するために借り入れた負債の状況など（ストック情報）が把握できます。
※財務書類等の詳細については、ウェブサイトまたは、各総合支所情報コーナー等でご覧いただけます。

貸借対照表

平成 27 年度決算（普通会計ベース）

将来の世代へ引き継ぐ資産

公共資産 公園・道路・学校・救急車など	2,788 億円
+	
投資等 出資・基金など	305 億円
+	
流動資産 現金や 1 年以内に現金化できる資産	122 億円

資産合計 3,215 億

将来の世代が負担するお金

固定負債 市債・退職手当引当金など、翌々年度以降に支払う予定のお金	1,045 億円
流動負債 翌年度に支払う予定のお金	97 億円

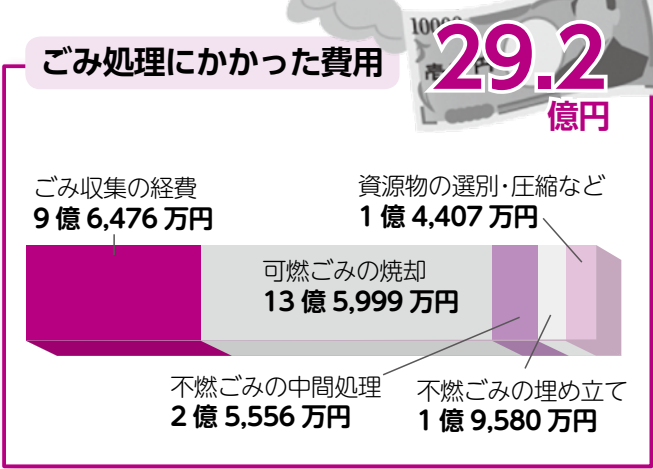
これまでの世代が既に負担したお金

純資産 将来の世代が負担することなく引き継ぐことができる資産	2,073 億円
-----------------------------------	----------

負債・純資産合計 3,215 億

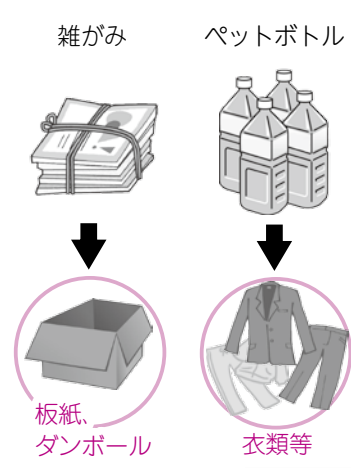
ごみ量は増加しました

平成27年度のごみの量は、前年度より約500t増加し、約7万5000tでした。これは、市民1人当たり、1日1085g(12gの増)の量という計算になります。また、ごみの収集や焼却・中間処理・埋め立てにかかった費用は、人件費や処理施設建設の減価償却費および起債償還利子を含め、約29億2千万円でした。



分別をいっしょにがんばりましょう

市民の皆さんのご協力で、ごみの分別が進んでいます。回収した資源物は、売却して収入となったり、再生品として生まれ変わったりすることで、私たちの生活に役立てられています。



「自分1人が取り組んでも変わらない」は間違いです
一人ひとりの分別量はわずかでも、市民の皆さんにご協力していただくことで、ごみは減少します。今後も分別等の取り組みにご理解とご協力をお願いします。

1.1 億円

リサイクルで得た収入

資源	回収量	売払金額
ペットボトル	404 t	1,793 万円
アルミ缶	222 t	3,221 万円
スチール缶	160 t	304 万円
新聞	2,002 t	1,557 万円
雑がみ	1,528 t	1,189 万円
破砕鉄	161 t	278 万円
破砕アルミ	22 t	160 万円
金属・小型家電製品	1,257 t	1,330 万円



ごみへの理解を深めるために

本市では、リサイクルの大切さやごみへの理解を深めるため、お気軽講座「ごみの分別」を実施するなど、市民の皆さんへ啓発活動を行っています。特に、小学4年生を対象とした環境学習を平成27年度からはじめており、子どもの頃からごみの問題について興味をもつような取り組みを行っています。今年度は、市内27校で実施し、延べ1545人の参加がありました。日々ごみの収集に従事している職員が講師となって「ごみの分別体験」、「ごみ収集車へのごみの積み込み体験」などを行います。リサイクルプラザや清掃工場などの施設見学と併せると、より日常生活で役に立つような学習内容となります。

環境学習

- 対象** 主に小学4年生のクラス
- 内容** ごみの分別体験、ごみの積み込み体験など
- 場所** 学校の運動場や体育館
- 時間** 授業時間1時間
- 問** 清掃事務所 ☎083-927-1770

学習の様子は「やまぐちゃんねる」でも放送しています

市政トピックス

平成28年第6回市議会
定例会を開催

昨年11月28日から12月16日の間、平成28年第6回市議会定例会を開催しました。市長から、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック市民祝賀祭、ロヴァニエニ市との観光交流パートナーシップ協定の締結、山口県央部における連携中枢都市宣言についてなど、市政の概況について報告がありました。

また、平成28年度山口市一般会計補正予算のほか、住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例、山口市保育施設等事故検証委員会設置条例、11の指定管理者の指定、鑄銭司団地用地の売却についてなど計37の議案を提出し、すべて可決・同意されました。また、地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出についての議員提出議案が提出され、可決されました。

なお、この度の議会では、第5回臨時会に上程した平成27年度一般・特別会計決算に係る全ての議案も認定されました。

市議会事務局
0833-9934-2854

有限会社元気ジャパンが
新事業所の建設を決定

運送業の有限会社元気ジャパン(本社山口市)が、鑄銭司団地に新事業所の建設を決定され、昨年12月26日に山口総合支所で本市と新事業所建設協定の調印式を行いました。調印にあたって、同社の木下久雄



左から市長、阿野県商工労働部長、木下社長

取締役社長は「平成16年にトラック1台からはじめた事業が、大型トレーラーを主力に30台を抱える規模となった。今後も社員が希望をもてる会社にし、市、県ひいては国に貢献できるようにがんばりたい」と述べられました。

新事業所は主にトレーラー輸送の拠点として、今年6月に操業開始予定です。新規雇用は地元を中心に5人を予定されています。なお、これにより鑄銭司団地の区画は完売となりました。

産業立地推進室
0833-9934-2813

防府 **防府お針祭り**

■期日 2月5日(日)
■場所 防府天満宮 お針塚前
■内容
・針供養…10時から
※古針、折れた針をお持ちください。
・手づくり品展示販売、ワークショップ…10時から
・お針競技(団体)…10時40分から
・記念講演「殿様と職人」…11時30分から
講師 福田百合子氏(中原中也記念館名誉館長)
問 防府お針祭り実行委員会 ☎0835-25-2148

宇部 **西島清順・そらみみの旅 世界をめぐる植物の展覧会**

ときわミュージアム温室のリニューアルを監修する西島清順氏の著書「そらみみ植物園」の世界を体験できる企画展。会場には、本の中に登場するオリーブの古木やハガキノキなど面白植物が大集合。その植物が秘めたエピソードとは?
■期間 3月12日(日)まで ※火曜休館
■時間 10時~16時(入館は15時45分まで)
■場所 ときわ公園 ときわ湖水ホール
■入場料 19歳以上300円、70歳以上200円
問 ときわミュージアム ☎0836-37-2888

山口 **阿知須ひなもんまつり& ぷち街角ぎやらりー**

阿知須地域独自の吊るし飾りの民芸品「ひなもん」をはじめとする工芸品や、アート作品などが一斉に飾られます。昔の面影を色濃く残す古民家「阿知須いぐらの館」など白壁の街並みとともに、阿知須のまちを散策してみませんか。

色とりどりの作品が阿知須のまちを彩ります

わがまちも、となりまちも、ぐるっと再発見!

■期間 2月9日(木)~13日(月)
■時間 9時30分~15時30分
■場所 阿知須商店街、いぐら造りの街並み周辺、山口県央商工会阿知須支所周辺
※期間中は、阿知須総合支所の駐車場が利用できます。
問 山口県央商工会阿知須支所 ☎0836-65-2129

不定期
コラム
No.3

地域おこしタイムズ

山口市ならではの特性を生かした地域づくりのため、地域おこし協力隊として活動を始められた二人を紹介いたします。



山口 美穂 さん (30歳)

平成28年7月に地域おこし協力隊に着任。京都生まれ滋賀育ち。高校卒業後、スポーツの専門学校、鍼灸の専門学校を卒業。その後京都の整形外科病院へ4年間勤務。趣味はバレーボール観戦。

山口さんが地域おこし協力隊に着任して7カ月。海や山など豊かな自然環境を持つ山口市南部地域で、ノルディックウォーキングやパークヨガなど、気軽に楽しめる運動を通じてニューツーリズムの形成に取り組んでおられます。



山口市の良いところを聞くと、「海がすばらしい。穏やかな瀬戸内は、山口市の財産ですね」と答える山口さん。最近この海で、スタンドアップパドルボード(通称サップ)の特訓をしているそうです。サップは、サーフボード

スポーツでつなぐ

をオールでこいで進むスポーツで、さながら海の上を散歩しているよう。「みんな、健康のために運動は大切だと頭ではわかっています。でも運動を始め、続けていくことってなかなか難しいですよ。サップのように、楽しみながら、続けられるスポーツを探して皆さんに広めていきたいです」と話されていました。今後は一人でも気軽に参加でき、そこで交流や仲間ができるようなイベントを考えていきたいそうです。

アートでつなぐ

川さんは大殿にある情報発信施設「大路ロビー」で、アートを通じた交流人口の拡大に取り組んでおられます。山口市へ来て初めての仕事が、大殿あかりさんぽのプロデュース。大殿周辺をライトアップするというものですが、このイベントに花を添える「ピンメリ」をワークショップでつくるという企画をされました。ピンメリは、麦わらを使ったフィンドの伝統的な飾り。大路ロビーに隣接する家具屋に飾ってあるのを見て、いいなと感じていたところ、折しも同じ地域おこし協力隊の奥山早紀さんが手をかけておられたため、12月に毎日行ったワークショップで



粉川 妙 さん (41歳)

平成28年9月に地域おこし協力隊に着任。兵庫生まれ、大阪で就職。その後、料理留学のため中部イタリアへ。食のライターなどをしながら11年間滞在する。現地でイタリア人画家と結婚し、一緒に本市へ。趣味は温泉通い。



第13回

歴史発見！こねえな話、知っちゃう？

松前了嗣



衣装提供：大路ロビー

「山口で適塾の授業が？」

大村益次郎その参

広報広聴課 ☎083-934-2753

地も萩から移転したのであります。そこで山口明倫館には、国学を学ぶための文学寮と、洋式兵学を学ぶための兵学寮が置かれましたが、元治元年(1864)2月19日、兵学寮は規模を拡大、兵学校となり、そこで益次郎は、兵学校教授を命じられ、洋式陸軍士官養成のための総括責任者となったのであります。

普門寺塾

皆さん、こんにちは。松前了嗣でございます。さて、前回は、大坂(大阪)の適塾に入門した益次郎が、そこでオランダ語の基礎を身に付け、その後、次第に頭角を現し、ついには塾頭に上り詰めたというところまでお話ししましたが、今回はその続きであります。

山口移鎮

文久3年(1863)、この年、長州藩では、藩主・毛利敬親が政治の中心地を萩から山口へと移転。まずは山口御茶屋(中河原町)に政事堂を置きまし。それに伴い、山口における文武の総合学舎である山口講習堂も、山口明倫館と改称。文教の中心

また、この時期、益次郎は、白石にある「普門寺」の境内で私塾を開き、門人たちを集め兵学を教授したといわれています。そこで取り入れたのが、適塾での採点方法でした。現在残されております。採点表には、討論の勝者には○、敗者には●の代わりに黒い点がふってあり、門人たちが学問に励んだ様子をうかがうことができます。当時、益次郎のもとで指導を受けた門人たちの中には、幕末には奇兵隊士として活躍、維新後は鉄道敷設に従事した、飯田俊徳(吉次郎)や、毛利

松前了嗣(まつまえりょうじ)

昭和42年生まれ。錦町(現・岩国市)出身。現在、本業の傍ら「NPO 法人防長史楽会」・「やまぐち萩往還語り部の会」・「山口市文化財保護指導員」などの活動に携わる他、講演や執筆活動にも積極的に取り組んでいる。



元徳の小姓役を務め、後に東京職工学校(現・東京工業大学)初代校長となった正木退蔵らがおりました。

こうして、幕末の山口では、益次郎によって、適塾さながらのレベルの高い授業が行われていたのです。その光景は、まるで「適塾の山口分校」。そんな様子だったのでないでしょうか。



山口明倫館兵学寮跡(中河原町)。前身の山口講習堂は1815年に上田鳳陽により開設された。

表紙の写真から

地域のつながり、トイトイに託す

日本版ハロウィンのような行事があると聞いて阿東地福に行った。雪が降る中、地区のあちこちから「トイトイ」という子ども達の叫び声が聞こえてきたので、さっそく小学生のグループに同行した。子ども達は、馬の形をした「わら馬」を民家の玄関先に置いて「トイトイ」と叫んで物陰に隠れるのだが、その姿がほほえましい。家の人がわら馬と交換にお菓子を置いて家に入ると、お菓子を貰い「ありがとございしました」と大きな声で挨拶して帰る。家の人はわら馬をお守りに、子ども達はお菓子を貰いうれしそう。しかし、家によってはお菓子を取りに来た子どもにも水をかけようと駆け引きをする。だがこのやりとりも緩くて、見ていて面白い。子ども達は水にかかるとなくお菓子を頂いて帰る。地福のトイトイ。そこには、伝統行事を楽しみながら次世代に受け継いでいる人々の姿があった。

地福のトイトイは毎年1月14日に行われる。子ども達が主役の伝統行事。(写真はわら馬)



広報広聴課 ☎083-934-2753

久保裕也

KUBO YUYA
SOCCER



「原川力選手のパスを、同じ山口市出身の久保裕也選手が受け、ゴール！」

スポーツに関心のある方なら、リオ五輪のサッカーで、本市出身の2人が躍動する場面を期待していただろう。しかし大会直前に所属プロサッカークラブの意向により出場を辞退せざるをえなくなった久保選手。落ち込んでいたと思われたが「すぐにクラブの試合があったので、意外に早く切り替えられた」と自身も語るように、直後、所属クラブの試合で2得点をあげ、良い意味でファンをがっかりさせなかったという。

久保選手は5歳の時に兄の影響でサッカーを始めた。大歳小学で久保選手にサッカーを教えた石井貴太郎さんは「24時間サッカーと共にいた。ボールから離れない子だった」と振り返る。久保選手に山口での思い出を尋ねてみると「サッカーのこじか覚えていない」と話すほどサッカー漬けで、グレル暇もなかったという。

今は日本から遠く離れたスイスで経験を積んでいる。五輪代表、そしてA代表で手応えを感じているのだろう、目標を尋ねると「(来年ロシアで行われる)ワールドカップの舞台に食い込んでいける実感がある」と自信をみせた。

彼の視線の先には輝いたワールドカップの舞台が見えている。

久保裕也 (くぼ・ゆうや)
1993年12月24日生まれ23歳。大歳出身。スイスのプロサッカークラブ所属。

①昨年1月のリオ五輪アジア最終予選で得点を決めた久保選手。
②昨年12月、市長を表敬訪問された際に、徳地和紙の色紙に書いていただいたサインを抽選で3名様にプレゼント。ハガキに、〒住所、氏名、年齢、市報やまぐちの感想を記入の上「サイン希望」と書き添え2月28日(火・消印有効)までにご応募ください。当選は発送(3月上旬)をもってかえさせていただきます。

応募先
〒753-8650 山口市亀山町2番1号
広報広聴課宛



野菜たっぷり和風ひじきサラダ

材料 (4人分)
生ひじき 150g
水 100ml
下味
めんつゆ(3倍濃縮) 大さじ2
みりん 大さじ1
きゅうり 1/2本
ちくわ 1本
ミックスベジタブル 80g
卵 2個
油 適量
マヨネーズ 大さじ1
みそ 小さじ1
ミニトマト 16個

作り方
①ひじきを洗って鍋に入れ、下味の調味料を加えて5分程度煮る。ざるにとって水気を切り、粗熱をとる。
②材料を切る。
・きゅうり…せん切り
・ちくわ…半月切り
③ミックスベジタブルをゆでて水気を切る。
④フライパンで錦糸卵をつくる。
⑤ボウルにマヨネーズとみそを入れてよく混ぜ、①②③を加えて和える。
⑥器に盛り付け、ミニトマトと錦糸卵をのせて完成。



朝は盛り付けるだけ!! /
野菜が主役の作りおきおかず
小・中学生が考えた「第10回ぼく・わたしのお料理コンクール」の入賞作品をご紹介します。(学年は昨年受賞時)
健康増進課 ☎ 083-921-2666



宮野中2年
三浦 遥 さん

工夫したところ
・彩りを考えて作った。
・野菜だけでなく、たんぱく質もとれるように、卵やちくわを使っている。



にぎやかおかず

材料 (4人分)
刻み昆布(乾燥) 20g
干しいたけ 5枚
にんじん 80g
れんこん 80g
油揚げ 1枚
こんにやく 50g
ごま油 大さじ1
水煮大豆 80g
ちりめんじゃこ 10g
砂糖 大さじ1
A
みりん 小さじ1
しょうゆ 大さじ3
白いりごま 適量

作り方
①刻み昆布と干しいたけを水で戻す。(干しいたけの戻し汁は取っておく)
②材料を切る。
・にんじん、れんこん、しいたけ…いちょう切り
・油揚げ…縦半分の長さの細切り
・こんにやく…細切り
③鍋にごま油を熱し、①②と水煮大豆、ちりめんじゃこを入れて炒める。
④干しいたけの戻し汁と水を合わせて350mlにし、③に入れる。
⑤煮立ってきたら、調味料Aを入れ、時々混ぜながら煮る。
⑥汁気が少なくなったら器に盛り、白ごまをふりかけて完成。



良城小2年
恵美奈 沙彩 さん

工夫したところ
・野菜を切って炒めて煮るだけ!
・「まごわやさしい※」を入れた。

※まごわやさしいとは、健康な食生活に役立つ和の食材の最初の文字です。
ま…豆、ご…ごま、わ…わかめ、や…野菜、さ…魚、し…しいたけ、い…いも

2/4 (土) ~ 5 (日)

名田島出身の日本画家 森重雪島翁作品展 [名田島] 山口南総合センター ☎ 083-972-8333

2/5 (日)

山口県読売駅伝 2017 [吉敷、小郡] 山口陸上競技協会事務局 ☎ 083-920-6125

2/9 (木) ~ 13 (月)

阿知須のひなもんまつり&ぶち街角ぎやらりー [阿知須] 実行委員会 ☎ 0836-65-2129



2/11 (土・祝)

市民ロードレース大会 [秋穂二島] スポーツ交流課 ☎ 083-934-2912

2/12 (日)

全日本実業団ハーフマラソン大会 [吉敷、湯田、白石、大殿、大内] 山口陸上競技協会事務局 ☎ 083-920-6125

2/25 (土) ~ 4/2 (日)

山口お宝展 [大殿、白石、湯田] 実行委員会 ☎ 083-925-2300

2/28 (火)

高倉荒神祭 [平川] 高倉荒神社 ☎ 083-924-8070

2/28 (火) ~ 3/20 (月・祝)

大殿ひなさんぽ [大殿] 大路口ビー ☎ 083-920-9220

3/5 (日)

レノファ山口FCホーム開幕戦 (VS福岡) [吉敷] スポーツ交流課 ☎ 083-934-2912



開催中のイベント

2/5 (日) まで

やまぐち新進アーティスト大賞ノミネート作品展 [大殿] 文化交流課 ☎ 083-934-2717

3/20 (月・祝) まで

企画展「山頭火の手紙〜『捨身』の旅へ」 [小郡] 小郡文化資料館 ☎ 083-973-7071

4/16 (日) まで

企画展Ⅱ「中也、この一篇『サーカス』」 [湯田] 中原中也記念館 ☎ 083-932-6430



おとうさん、おかあさんといっしょ

湯田温泉で足湯めぐり [湯田]

湯田温泉には、無料で利用できる足湯が6カ所あるのをご存じですか？中にはかわいらしいきつねが迎えてくれる所も。お子さんと一緒にお気に入りの足湯を探してみましょう。

【利用時間】

- ・湯の香通り…8時～22時
- ・サンフレッシュ山口…9時～20時
- ・観光案内所前、湯の町通り、井上公園、湯田温泉駅前…10時～22時

☎ 観光交流課 ☎ 083-934-2810



成人式を迎えて

新たな年を迎え1カ月が経過しました。まだまだ寒い日が続いており、まだ寒い日が続いておられますので、体調管理には十分に御留意いただきたいと思っております。さて、1月8日に成人式を開催しました。本市では、約2千人の皆さんが、新成人として人生の門出を迎えられました。心からお祝いを申し上げます。

昨年のリオデジャネイロオリンピック、パリピックで、本市ゆかりの若きアスリート達が活躍し、4名の金、銀、銅のメダリストが誕生しました。

若さあふれる選手たちの姿は、私たちに大きな感動、そして勇気と希望を与えてくれました。

若さというものは、それだけで大きな力と無限の可能性を持っています。新成人の皆さんには、自らの志を高く掲げ、自分を信じて、何事にも積極果敢にチャレンジをしていただきたいと思っております。

そして、これからは地域づくりや社会活動にも積極的に参加していただき、「これが私の故里だ」と、郷土への誇りが持てるような「定住実現都市」をとともに築いていきましょう。若きパワーに期待しています。



あしたへトライ

山口市長 渡辺純心